

平成 25 年 11 月 7 日

都道府県医師会長 殿
郡市区医師会長 殿



日本医師会
会長 横倉 義武

平成 25 年度 A i 学術シンポジウム 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今般、標記シンポジウムを開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

平成 24 年 6 月にいわゆる死因究明推進二法が成立し、現在内閣府に、死因究明等推進計画の策定を目的として、死因究明等推進会議、および具体案の検討を目的とする死因究明等推進計画検討会が設置され、日本医師会からも検討会委員として日医役員が参画し、日本における新たな死因究明制度の確立を目指し、具体的な検討を行っているところであります。

日本医師会では、従前より死因究明における A i の有効性とその活用について様々な場を通じて発言を重ね、具体的な施策を提言してまいりました。その中でも特に小児の全死亡事例への A i の導入については、来年度以降その足がかりとして、モデル事業が展開されようとしているところであります。

本年度のシンポジウムは、死因究明推進二法の成立が A i の活用にもたらす影響を考察し、日本の死因究明制度に A i の果たす役割とその展望を論ずることによって、A i の普及、促進をはかることを目的として行われます。

つきましては、申し込み方法等について、別紙に記載いたしますので、貴会におかれましても会員の先生方に向け周知方ご高配いただきたく、お願い申し上げます。

申し込みにつきましては、平成 25 年 12 月 15 日(日)までに、FAX もしくは E-mail にてお願いいたします。

また、本件につきましては、日本医師会ホームページ内[お知らせ]→[セミナー・フォーラムのご案内]コーナー<http://www.med.or.jp/people/info/> 及び、日医ニュース 11 月 20 日号にも掲載いたしますことを申し添えます。

敬具

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 榎藤秀之
会長 蒲池 壽

平成25年度 Ai 学術シンポジウム
～死因究明推進二法と Ai の活用～
ー参加者募集のご案内ー

主催： 日本医師会、日本医学放射線学会、
 日本小児科学会、Ai 学会、日本警察医会他
 後援： 日本医学会、日本病理学会、日本法医学会、
 放射線医学総合研究所他

参加対象

どなたでも参加できます。

開催日時等

開催期日	平成 25 年 12 月 21 日（土）
開催時間	13 時～16 時 40 分
受付時間	12 時より開始
開催場所	日本医師会館 1F 大講堂 東京都文京区本駒込 2-28-16 地図等は下記サイト↓を参照 http://www.med.or.jp/jma/about/access.html *JR 山手線「駒込駅」南口より徒歩約 10 分 *東京メトロ南北線「駒込駅」出口 2 より徒歩約 10 分 *都営地下鉄三田線「千石駅」A3 出口より徒歩約 8 分 ※車での来館はご遠慮ください。駐車できません。
定員	400 名（先着順・定員に達し次第締切）
参加費	無料（※宿泊費、交通費は各自のご負担となります。）
生涯教育単位数	日本医師会生涯教育制度の取得単位 3.5 単位に該当します。 （カリキュラムコード：1,5,6,7,9,10,13）
託児所 預かり定員	5 名（先着順・定員に達し次第締切り） 利用希望の方は、申込用紙にて事前にお申込みください。
申込締切り	平成 25 年 12 月 15 日（日）まで （ただし、託児所をご利用希望の方は、12 月 6 日（金）までにお申込みください。）

次第

司会：高杉敬久（日本医師会 常任理事）

時 間	内 容
13:00	開会
13:00~13:05	日本医師会会長 挨拶
13:05~13:10	厚生労働大臣政務官 挨拶
第 1 部 13:10~13:55 (各 15 分)	死因究明推進二法をめぐる行政の動向 進行：日本医師会 常任理事 高杉 敬久 演者：井上 示恩（内閣府死因究明等推進会議事務局 参事官） 檜垣 重臣（警察庁刑事局捜査第一課 検視指導室長） 北澤 潤（厚生労働省医政局医事課 課長）
13:55~14:05	休憩
第 2 部 14:05~15:25 (各 20 分)	死因究明推進二法が A i の活用に与える影響 進行：日本医師会 常任理事 葉梨 之紀 演者：飯野 守男（慶應義塾大学医学部法医学教室 准教授） 今井 裕（日本医学放射線学会 理事） 伊藤 憲佐（亀田総合病院 救命救急部長） 山本 正二（オートプシー・イメージング学会 理事長）
15:25~15:35	休憩
第 3 部 15:35~16:35	総合討論 ～死因究明推進二法と A i の活用～ 座長：日本医師会 副会長 今村 聡 橋本 岳、飯野 守男、今井 裕、伊藤 憲佐、山本 正二
16:35~16:40	総括 日本医師会 副会長 今村 聡
16:40	閉会

（注：講演タイトル、演者等は当日までに変更になる場合がございます。）

申込方法

参加希望者は、下記の要領で必要事項を記入のうえ、日本医師会 医事法・医療安全課宛に、FAX もしくは E-mail にてお申込みください。

お申込み頂いた方には、数日中に【参加票】を FAX もしくは E-mail でお送りいたします。【参加票】は当日必ずお持ちください。

◆FAX でお申込みの方…

次頁の申込用紙にご記入のうえ、FAX 03-3946-6295 へ送って下さい。

◆E-mail でお申込みの方…

以下の項目を記入して、ai-1221@po.med.or.jp 宛てに送信して下さい。
(実際に送信する場合は「ハイフンを半角 (-)」に変換して送信してください。)

【メールタイトル】

A i 学術シンポジウム申込み

【本文】

日本医師会 A i 学術シンポジウムに参加希望

- ・氏名：
- ・氏名フリガナ：
- ・所属団体（複数可）：
 - 1. 医師会（都道府県名 _____ 郡市区名 _____）、
 - 2. 日本医学放射線学会、3. 日本病理学会、4. 日本法医学会、
 - 5. 日本小児科学会、6. 日本救急医学会、7. A i 学会、
 - 8. 日本警察医会、9. 日本診療放射線技師会、
 - 10. その他（ _____ ）

※日本医師会への所属（1. 会員 or 2. 非会員）

- ・職種：1. 医師、2. 診療放射線技師、3. 看護職員、4. 医師会職員、
5. 病院・診療所事務員、6. 法曹関係者、7. 学生、8. その他（ _____ ）

- ・参加票の送信先： 1. 勤務先 FAX、2. 自宅 FAX、3. E-mail

- ・電話番号（必須）：**-*****-*****

- ・FAX 番号（FAX 送信希望者）：**-*****-*****（勤務先 or 自宅）

※勤務先への FAX を希望される方は「所属機関名」「部署名」も必ずご記入ください。

- ・E-mail（E-mail 送信希望者）：*****@***.***.***

- ・託児所の利用： 1. 利用する 2. 利用しない

締切り

平成 25 年 12 月 15 日（日）

（ただし、託児所を利用希望の方は、12 月 6 日（金）までにお申込みください。また、申込みは先着順とさせていただきます。期日前に定員に達した場合には、その時点で締切らせて頂きます。）

平成 25 年度 A i 学術シンポジウム
 ～死因究明推進二法とA i の活用～
申 込 書

※個人情報の取り扱いについて

ご記入頂いた情報は、本シンポジウム以外には一切使用しません。

※本シンポジウムは、日本医師会生涯教育制度の取得単位 3.5 単位に該当します。対象となる方は、当日配布する「参加証」にて、各自で申告してください。

フリ ガナ
氏 名

：

所属団体

：（加入されている団体があれば該当するものに○をつけてください。複数可。）

- 1.医師会（都道府県名 郡市区名） 2.日本医学放射線学会
 3.日本病理学会 4.日本法医学会 5.日本小児科学会 6.日本救急医学会
 7.A i 学会 8.日本警察医会 9.日本診療放射線技師会
 10.その他（ ）

※日本医師会への所属（会員・非会員）→（どちらかに○をつけてください。）

職種

（当てはまる職種に○をつけてください。）

- 1.医師 2.診療放射線技師 3.看護職員 4.医師会職員 5.病院・診療所事務員
 6.法曹関係者 7.学生 8.その他（ ）

参加票の送信先

：（受付後、数日中に【参加票】を送信します。

ご希望の送信先 1 つに○をつけ、必要事項をご記入ください。）

（ 勤務先 FAX ・ 自宅 FAX ・ E-mail ）

電話番号（必須）：

F A X (FAX 送信希望の方)： （自宅・勤務先）

E-Mail (Mail 送信希望の方)：

（勤務先への FAX を希望される方は以下にも必ずご記入ください。）←

（所属機関名）：

（部 署 名）：

（役 職 名）： （任意）

託児所の利用（ ☐ .利用する ）

→ （利用するに○をつけた方には、詳細を別途ご連絡いたします）

本紙 1 枚につき 1 名様をご記入ください
 （複数名の場合はお手数ですが本紙をコピーしてお使いください）